

パフォーマンスキッズ・トーキョー フォーラム

Performance Kids Tokyo Forum vol.3

Program

社会性とは何か？

コミュニケーションと身体感覚

～アーティストによる子供ワークショップの実践を通じて～



6年前にスタートしたパフォーマンスキッズ・トーキョー (PKT)。学校やホール、児童養護施設で、数ヶ月の間におよそ10日間という比較的長期にわたって、子供たちが仲間やアーティストとともに時間を過ごし、作品を創作します。その過程で子供たちは多様な関わり＝コミュニケーションを通じて、他者を知り自分を表現しますが、その集団は、擬似共同体とも言えます。様々な身体感覚を持った子供たちは、単に言語だけでコミュニケーションするわけではありません。創作過程では、自分の周りの他者や空間・モノ・音などを感覚的に捉え、関係性を築き、共同体を形成します。共同体や社会を形成するには、身体感覚を伴ったコミュニケーションの構築が欠かせないと思います。特に、PKTでときどき出会う、自閉・発達障害傾向の子供たちには、独特な身体感覚と、世界を捉える能力があります。ヒトが社会をどう築いてきたか、我々が忘れてしまったことを彼らは思い出させてくれているような気がしてなりません。共感する、場の空気を読む、などと言いますが、それはどのようなことなのでしょう。そもそも社会性とはいったい何なのでしょう。そして、社会性を育むことは、文化とどのような関係にあるのでしょうか…。

堤 康彦 (NPO法人 芸術家と子どもたち 代表)

出演者プロフィール

渡辺 公三 わたなべ こうぞう

文化人類学者・立命館大学大学院先端総合学術研究科教授
立命館大学副学長

1981年東京大学大学院社会学研究科博士課程修了。博士(文学)。
著書:『現代思想の冒険者たち——レヴィ・ストロース構造』(講談社、1996年)、『身体・歴史・人類学1——アフリカのからだ』(言叢社、2009年)、『身体・歴史・人類学2——西欧の眼』(言叢社、2009年)、『闘うレヴィ・ストロース』(平凡社新書、2009年)ほか。共著・訳書多数。

脇坂 崇平 わきさか そうへい

理化学研究所 脳科学総合研究センター
適応知性研究チーム研究員

2001年東京大学教養学科学史・科学哲学科卒業。2007年神戸大学大学院自然科学研究科修了(理学博士)。2008-2011年理化学研究所脳科学総合研究センター創発知能ダイナミクス研究チーム。2011年から同センター適応知性研究チーム。代替現実Substitutional Reality (SR) Systemの開発・研究に従事。アートパフォーマンスグループ・グライNDERマンと共同で、代替現実(SR)システムによる体験型パフォーマンス「MIRAGE」を開発。2012年日本科学未来館などで上演。

小池 雄逸 こいけ ゆういつ

目黒区立五本木小学校情緒障害等通級指導学級教諭

学生時代のボランティア活動をきっかけに、障害のある子供たちへの教育にたずさわる。現在、発達障害・情緒障害のある子供たちを対象とした通級指導を担当している。特に子供の自己や社会性の発達について関心をもつ。

新井 英夫 あらい ひでお

体奏家・ダンスアーティスト

幼少より落語に親しみ、のち演劇を始める。1987～96年まで身体表現グループ「電気曲馬団」を主宰、まち・人・風景と交わるパフォーマンスをこの頃から継続中。89～98年まで野口体操を創始者野口三千三氏から学ぶ。97年より国内外でのダンス活動を独学で開始。国際共同創作も多数。同時に、障害のある方・乳幼児～高齢者の方まで幅広い対象にワークショップを展開。PKTには2008年度より参加、小学校4校、児童養護施設3か所、ホール1か所にて実施。

港 大尋 みなと おおひろ

作曲家・音楽家

バンド「ソシエテ・コントロール・レタ」を率い、詩人やダンサーとのコラボレーションなど幅広いフィールドで演奏活動をしなが、作曲家として合唱曲、器楽曲、劇音楽、ダンス音楽やCMなどの作曲作品を書き、同時に、シンガーソングライターとして活動する。また、東京芸術大学や京都造形芸術大学、有明芸術短期大学などで講師を勤めながら、小学校(特別支援学級含む)などでワークショップやライブを行う。PKTには2009年度より参加、小・中学校4校、児童養護施設2か所、ホール2か所にて実施。本フォーラムを監修。

堤 康彦 つつみ やすひこ

NPO法人 芸術家と子どもたち代表

東京ガス(株)でホールやギャラリーの運営に携わり、ダンス・音楽・美術等の公演や展覧会をプロデュース。その後、大阪府立大型児童館等の勤務を経て独立。2000年、現代芸術家を小学校等へ派遣しワークショップ型授業を実践する活動＝エイジアスを開始する。

お申し込み方法

下記の①～⑥までの項目をお書き添えの上、FAXまたはEメールにてお申込みください。

- ①お名前
- ②ご所属
- ③お電話番号
- ④受付確認の連絡先(FAX or メール)
- ⑤ご同伴者のお名前とご所属
- ⑥今後のPKTイベント案内を「希望する」「希望しない」

FAX ➡ 03-5961-5738

Eメール ➡ action@children-art.net

(件名を「PKTフォーラム参加申込」としてご送信ください。)

- ※参加申込受付後、一週間以内に事務局より申込受付確認のご連絡をいたします。
- ※先着順での受付となります。定員に達し次第、お申込み受付を終了させていただきます。
- ※お預かりした個人情報は主催者からのご案内にのみ使用し、適切に管理します。

こんな方をお待ちしています

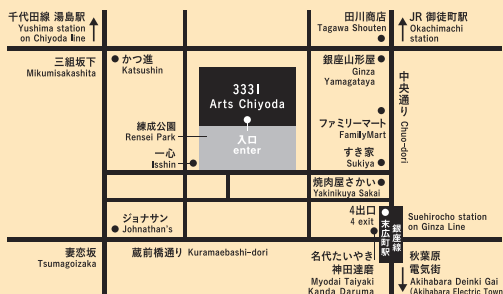
アート・教育・福祉・子供NPO関係者、小・中学校の先生、特別支援学級の先生、福祉施設職員、教育研究者、教育・文化行政担当者、大学生、ワークショップに関心のある方…など。

お問合わせ NPO法人 芸術家と子どもたち 〒170-0001 東京都豊島区西巣鴨4-9-1 にしすがも創造舎 TEL:03-5961-5737/FAX:03-5961-5738 <http://www.children-art.net>

「東京文化発信プロジェクト」とは

東京文化発信プロジェクトは、「世界的な文化創造都市・東京」の実現に向けて、東京都と東京都歴史文化財団が芸術文化団体やアートNPO等と協力して実施しているプロジェクトです。都内各地での文化創造拠点の形成や子供・青少年への創造体験の機会の提供により、多くの人々が新たな文化の創造に主体的に関わる環境を整えるとともに、国際フェスティバルの開催等を通じて、新たな東京文化を創造し、世界に向けて発信していきます。 www.bh-project.jp

アクセス



会場：アーツ千代田3331

東京文化発信プロジェクトROOM302(3階)

〒101-0021東京都千代田区外神田6丁目11-14

東京メトロ銀座線末広町駅4番出口より徒歩1分
東京メトロ千代田線湯島駅6番出口より徒歩3分
都営大江戸線山手御徒町駅A1番出口より徒歩6分
JR 御徒町駅南口より徒歩7分
JR 秋葉原駅電気街口より徒歩8分